



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成 29 年 5 月号

生徒会役員決まる

中高部サンフランシスコ、サンノゼの両校で4月29日（土）平成29年度生徒会役員選挙が行われました。サンノゼ校では、立会演説会の後、その場で各学級の学級委員が投票用紙を集め、選挙管理委員会により昼休みに開票が行われ、帰りの会で開票結果の発表という段取りで新年度の生徒会役員が決まりました。



生徒会の主な活動は、球技大会や文化祭の運営、全校朝会、昼休み交流活動の計画・実施等となっています。これらの行事や活動を成功に繋げるためには、生徒会役員で話し合いを重ね、決定したことを各学級に知らせ周知徹底させる必要があります。その過程では、多くの議論を重ねることになります。時には意見集約に困難を伴うこともあります。このような経験を通してコミュニケーション能力や人間関係形成能力が培われることとなります。サンフランシスコ校中高部生徒会長は「生徒の意見をもっと取り入

れ、それらをしっかりと反映するよう努力したい」、「学級間の交流を増やし親睦を図るとともに多種多様なイベントを企画したい」との目標を語っていました。生徒の皆さんが各種行事や活動を通して自主的、実践的な態度を身に付けることができる生徒会活動にして欲しいと思います。

海外学校説明会・相談会が盛況のうちに終了



海外学校説明会・相談会が5月16日（土）に中高部サンノゼ校にて行われました。本説明会は、昨年度は、サンフランシスコ校幼小部にて開催されましたが、保護者の方々の関心が高く本年度も実施することとなりました。今年度も、帰国子女教育において実績のある13校が日本から参加し、それぞれの学校の魅力をアピールしていました。保護者の参加は延べ100名を越えており、中には講師の話に熱心に聞き入る親子の姿も見られました。また、参加者には、ユタ州から駆け付けた方もおり、本説明会への関心の高さをうかがわせました。日本と異なる言語、文化、社会環境のなかで生活し学んだ子供たちは、将来のグローバル人材の「金の卵」です。卵を孵化させ育てるのは、保護者の義務であり責任です。帰国後は、日本の学校と連携し、子供たちの才能と能力を更に引き出し伸ばすことが期待されます。

文化、社会環境のなかで生活し学んだ子供たちは、将来のグローバル人材の「金の卵」です。卵を孵化させ育てるのは、保護者の義務であり責任です。帰国後は、日本の学校と連携し、子供たちの才能と能力を更に引き出し伸ばすことが期待されます。